



みんなで止めよう温暖化

チーム・マイナス6%

誰もが実践できる、具体的な6つのアクションプラン

チーム・マイナス6%では、CO₂削減のために、具体的な6つのアクションを提案します。日々のちょっとした気遣いが積み重なれば、大きな削減になります。チーム全員で実施すれば、確実に大きな削減効果が期待できます。そのための第一歩は、まず、あなたができることを行動に移すことです。まずは、身近なところから取り組んでみてください。

アクション① 温度調節で減らそう
 冷房は28℃、暖房時の室温は20℃にしましょう。
 ●例えばこんな工夫
 日差しが当たる窓にはカーテンやブラインドをおろすことで、室温の上昇が抑えられます。また、せっかく冷やしたり暖めたりした空気を逃がさないように、窓やドアはきちんと閉めましょう。エアコンのフィルターの汚れも消費電力増につながります。機器のメンテナンスにも気を使いましょう。

アクション④ 商品の選び方で減らそう
 エコ製品を選んで買しましょう。
 ●例えばこんな工夫
 エコ製品は様々な分野で開発されています。ガステーブルの内炎式バーナー、ソーラー発電機器、太陽熱温水器や家庭用潜熱回収型給湯器など。家屋の新築や改装などの際には、各分野のエコ製品を検討してみてください。

アクション② 水道の使い方で減らそう
 蛇口やシャワーはこまめに止めましょう。
 ●例えばこんな工夫
 風呂の残り湯を洗濯に使用したり、節水効果のあるシャワーヘッドなどの機器を導入することも効果的です。実際に使用してみると、それほど不自由を感じるものではありません。ぜひ一度チャレンジしてみてください。

アクション⑤ 買い物とごみで減らそう
 過剰包装を断りましょう。
 ●例えばこんな工夫
 スーパーの一部では、買い物袋が不要であることを示すカードが用意されています。コンビニでも購入した商品が少なければ、手提げ袋が必要か聞かれることがあります。こうした取り組みに積極的に応えることで、少しずつ意識を変えていきましょう。

アクション③ 自動車の使い方で減らそう
 エコドライブをしましょう。
 ●例えばこんな工夫
 エンジンの暖機から見直しましょう。最近の車はほとんど必要ないと言われています。エンジンのオン・オフの頻度は、人の乗り降りや荷物の上げ下ろしなど通常の範囲でなら、バッテリーに対する影響もありません。1分以上の停止を目安に、エンジン停止を心掛けましょう。

アクション⑥ 電気の使い方で減らそう
 コンセントからこまめに抜きましょう。
 ●例えばこんな工夫
 電気製品が集中するのは、テレビやステレオ、キッチンまわり。使うたびに抜き挿しするのが面倒ならば、まずは定期的にコンセントから全部外し、次に使う時にコンセントに挿し込むようにしては、ふだん使わないものほど、抜いたままの状態になるはず。

チーム・マイナス6% 運営事務局ホームページ (http://www.team-6.jp) より

菊池市では、上記6つのアクションプラン推進のほか、事務事業により発生する温室効果ガスの排出抑制などのために、ISO14001による環境マネジメントシステムによる活動および成果を基本とした地球温暖化対策実行計画を策定し、更なる温室効果ガスの削減に努めます。

～4Rで広げようエコライフ～ 第4回菊池管内環境フェア

ごみを発生源で断つ(Refuse・リフューズ)、ごみを減らす(Reduce・リデュース)、繰り返し使う(Reuse・リユース)、再び資源として利用する(Recycle・リサイクル)など、4Rに取り組んだ循環型社会の実現を目指し、今回はマイバッグの普及を推進します。
とき 9月10日(日) 午前8時30分～午後1時
ところ 菊陽町図書館ホール(杉並木公園隣)
 このフェアは、菊池環境保全組合の構成団体である菊池市・合志市・大津町・菊陽町と菊池環境保全組合で開催します。フェアでは、傘からマイバッグを作る体験コーナーやEMポカ

シの作り方、節水ゴムの無料配布、フリーマーケットやリサイクルバザーなどいろんな催しを計画しています。その他、マイバッグの無料配布と、リサイクル自転車などいろんな景品が当たる抽選会もありますので、ぜひご家族やお友達とお越しください。
問い合わせ先
 環境課廃棄物対策係
 ☎(25)1111 または
 菊池環境保全組合
 ☎096(293)2555



昨年の菊池管内環境フェア

みんなで止めよう温暖化

菊池市は、政府が推進する

地球温暖化防止の国民運動

チーム・マイナス6%

に参加しています

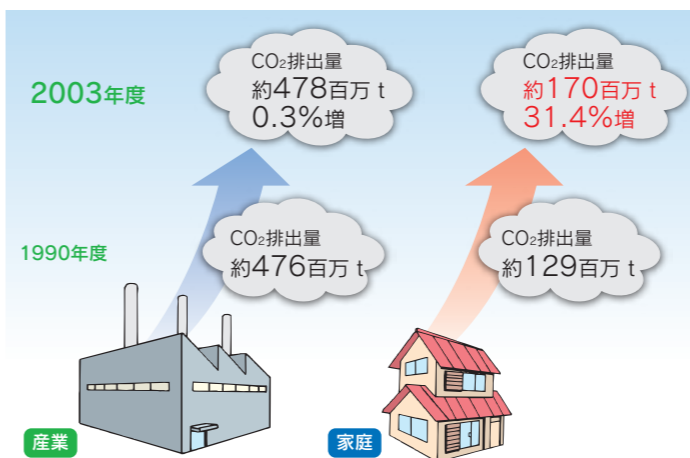
問い合わせ先 環境課環境政策係 ☎(25)1111

一人ひとりの力を結集した「チーム力」で実現しよう

政府が推進する地球温暖化防止の国民運動「チーム・マイナス6%」とは、京都議定書(※)の目標を達成するための一人ひとりのアクションプランです。深刻な問題となっている地球温暖化。この解決のために世界が協力して作った京都議定書が、平成17年2月16日に発効しました。世界に約束した日本の目標は、温室効果ガス排出量6%の削減です。これを実現するための国民的プロジェクト、それが「チーム・マイナス6%」です。買い物を遠慮(かんじ)し、エアコン

を少し控えること、水や電気を節約することなど、身近にできるちょっとしたことが、チームになれば大きな力になります。その力は、確実に地球温暖化防止に役立つのです。大切なのは、チームの力を信じて、一人ひとりができることから実践していくことです。この取り組みに、あなたの力を貸してください。

市民の皆さんや事業所の皆さんもこの活動に参加してみませんか?
 ●登録用ホームページアドレス
<http://www.team-6.jp/entry/index.html>



※京都議定書
 1992年の地球環境サミットで、日本を含む188カ国で気候変動枠組条約が締結されました。これは大気中の温室効果ガス(CO₂など)の増大による地球の温暖化を抑制することを目的としたものです。この条約の目的を達成するために、COP3(第3回締約国会議)で採択された議定書が京都議定書です。ここでは先進諸国に対して、2008年～2012年の間に、1990年比で温室効果ガスの削減が数値として義務づけられました(日本は6%)。日本を含む140カ国と欧州共同体が締結し、2005年2月16日、京都議定書は発効しました。

地球環境・・・このとてつもなく大きなテーマに対して、私たち一人ひとりができることは何でしょうか?
 一人ひとりの力は、それほど大きくないかもしれませんが、それがチームとなつて結集すれば、地球規模の大きな力になれるはずです。
 「チーム・マイナス6%」。この言葉には、そんな思いが込められています。

